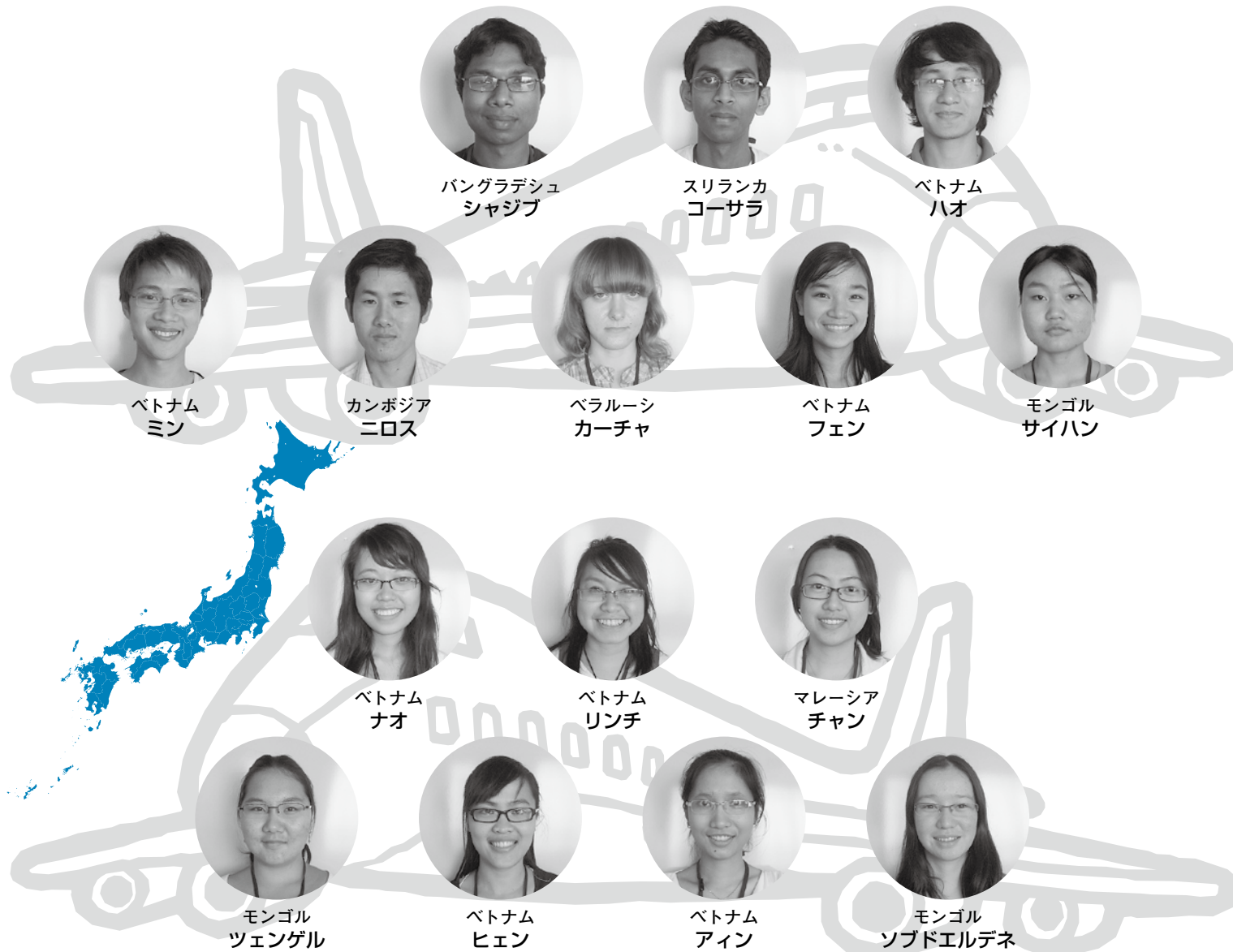


わーるど

第25号
2009. 10. 1

ふれあい交流 “いなみ野の里” 開催
過去最大15名の留学生が参加!
 たくさんの交流を重ねた留学生とホストファミリーの
 新鮮なメッセージをご覧ください



7カ国（バングラデシュ、スリランカ、ベトナム、カンボジア、マレーシア、モンゴル、ベラルーシ）の留学生が来町し、国際色豊かな交流になりました。

この事業は、(財) 兵庫県国際交流協会の民間国際交流事業助成制度による助成を受けて実施しました。

異文化理解講座

インドのヨーガ体験

インド政府公認のヨガ指導員アルジュン・グブタ先生から健康に良い話を聞き、一緒にヨーガ体験をしませんか? 日曜日の午前中、みんなでリフレッシュしましょう!

と き 11月1日(日) 10:00~11:30
 と ころ いきがい創造センター 2階ホール
 会 費 会員無料 非会員300円
 定 員 30名



申込みされる方へのお願い

- ・ヨガマットをお持ちください。なければバスタオルをお持ちください。
- ・運動ができる服装でお越しください。
- ・開始の2時間前からは何も食べずにお越しください。

料理教室のご案内

バングラデシュ料理教室を開催します。6月に稲美町に来て、バングラデシュの事をたくさん教えてくれたバシールさんが、今度はバングラデシュ料理を教えてください。みんなでバングラデシュ料理を作りませんか? バングラデシュ音楽が聴けるかも…。

と き 平成22年2月14日(日) 11:00~15:00
 と ころ いきがい創造センター調理室
 会 費 会 員 1,000円
 非会員 1,500円
 定 員 16人
 ※メニュー等は後日お知らせします。



編集後記

今年のホームステイ事業の参加留学生はなんと15名。例年の約1.5倍で、この増加が案外と気を緩めさせない。食事の準備や運搬車両の大きさなど、物理的要因だけでなく、集合時間の余裕度・自国発表時間の長さなど、行事予定に与える影響は大きい。

しかし、この増加による苦難を上回る楽しみ・感動があった。ふれあい交流“いなみ野の里”は面白い。やめられない。

(N)

会 員 募 集

21世紀にふさわしい稲美町の国際交流を進めるため、稲美町国際交流協会の会員を募集します。多くの方のご加入により、活気があふれ、心と心がふれあう協会にしたいと思っておりますので、ご賛同をお願いします。

なお、会員の皆様には、各種イベントのご案内、イベント参加費の割引などの特典を予定しております。
 ※会員申込書は協会ホームページからダウンロードできます。

【年会費】	・個人	1口	1,000円(中高生は500円)
	・家族	1口	2,000円(同居)
	・団体、法人	1口	10,000円

※ご加入いただけます方は、お手数ですが協会事務局までお問い合わせください。

平成21年度 稲美町国際交流協会 団体・法人会員

(順不同・9月1日現在)

- | | |
|-------------------|--------------|
| 医療法人社団 奉志会 大西整形外科 | 松葉堂 |
| 医療法人社団 奉志会 | 兵庫県信用組合 稲美支店 |
| キング醸造(株) | 辰巳歯科医院 |
| 社会福祉法人 日の出福祉会 | 稲美乳販株式会社 |
| Big mama 大村農園 | 株式会社コカジ技研 |
| 六甲バター(株) 稲美工場 | 稲美町老人クラブ連合会 |
| (有) 聖 | |

会費をご高納いただき誠にありがとうございます。
 今後ともご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

ふれあい交流会

ナオ(ベトナム)
今日のふれあい交流会は楽しかったです。皆は工夫して上手に国の紹介をしていました。いろんな国のことがよくわかりました。

リンチ(ベトナム)
ホストファミリーが来てくれて楽しかったです。留学生の発表もよかったです。もっとも残念なことに、きちんと準備していなかったので、ベトナム人の発表は何か失礼なことがあるような気がします。もうし訳ないです。

ミン(ベトナム)
ふれあい交流会に来た人が多かったです。じゅんびするのほちょっとよくないで心配したけど、スピーチはだいたいよかったです。みんな日本語じゃずに自分の国のことについて発表しました。



ベトナムの人々の意識や生活は一世代前の日本と似た印象を受けました。自動車はまだ少なく、人心が穏やかで家族のつながりが強く、ベトナムの有名なドン・ホ絵画に描かれているように、人々は「人間と自然との融合を大切にしている」ことがわかりました。現在日本で失っているものが残っているようです。



(白沢 秀則)

ドン・ホ絵画

万葉茶会

サイハン(モンゴル)
高校生と交流して、日本のでんとうきな万葉茶会にさんかした。お茶はおいしかった。高校の学生たちはしんせつでおもしろかった。いけばなをならいました。高校生の女の子といっしょにきれいな花を作りました。日本の文化おもしろい。



カーチャ(ベラルーシ)
茶道と華道は日本の有名なことですが、今日は初めてそのことをやってみました。お抹茶を飲んだり、生け花を飾ったりしました。楽しんでそのことを習っていました。高校生からメール・アドレスを教えてくださいました。

みんな一生懸命お茶をたてていて、嬉しかったです。あと母国の話になって、たまたま世界史の史料集を持っていたのでみんなで見たのですが、歴史は世界共通なのでとても盛り上がるのができ、より歴史の勉強に興味を持つことができました。(櫻井 みなみ)

今日はたくさんの留学生の方々とお花を生けて楽しかったです。皆とても積極的に真剣に取り組んでいただけとても嬉しかったです。お花以外にもたくさんお話できて、盛り上がりコミュニケーションもとれて、良い経験になりました。(泉 絢子)

中学生交流

ソブドエルデネ(モンゴル)
中学生たちは夏休み中なのに、私たち留学生のために、いろいろと準備してくれたから、本当に感謝しました。日本のヨーヨー釣りゲームとか、書道とか、おり紙とかいろいろな日本文化を経験できて本当に嬉しかったです。中学生との交流は忘れられない経験になったので、稲美中学校の皆様「ありがとうございます」といいたいです。



ニロス(カンボジア)
中学生たちは皆すごいですね。皆は親切に留学生たちにいろいろなことをしてくれました。今、皆は英語があまり話せないでも、大学に入る時、すぐ英語話せると思います。もう一つの言いたいことは音楽の授業です。音楽をえんそうしてくれる時、私の気持ちがとてもよかったです。疲れることも暑い天気も全部忘れられました。

私は書道を担当していました。始めは自分の名前を書いてもらいましたが、学生さんたちは「漢字も書きたい!」「夢ってどう書くの?」などたくさん質問してくださってとても興味を持ってきて、この人たちは積極的に学ぼうとする意志があるんだなと感じました。私は今日、自ら学び、そして楽しむことを教わりました。(廣 七海)

外国人の方が、「とても日本が好きです!」と喜んでくださったとき、何か私がほめられたような明るい気持ちになりました。人に喜ばれることを一生懸命しようとする、自分も楽しくなり、相手の笑顔を見たときの何とも言えないうれしい気持ち。このことを改めて今日の交流で実感しました。(小西 杏奈)

対面式・歓迎会

チャン(マレーシア)
私は稲美町に着いたばかりの時、ちょっとびっくりした。私の故郷も稲美町のようにお米を作るから、この景色はとても懐かしくて、きれいだった。そして、歓迎会で私はみんなの熱情の招待にもびっくりさせられた。



アイン(ベトナム)
今回初めて1週間も泊まるのでドキドキしましたが、稲美町に来て、皆の大歓迎にびっくりして喜んでいました。ホームステイの皆さんも親切にしてくれて、うれしかったです。



15日(土)	14日(金)	13日(木)	12日(水)	11日(火)	10日(月)	9日(日)	8月8日(土)
反省会 お別れ会	フリータイム	フリータイム	ふれあい交流会 料理教室	小学生交流 万葉茶会	中学生交流 老人クラブ交流	フリータイム	歓迎会 対面式

お別れ会



▲涙あり、笑いありのお別れの挨拶でした。



▲恒例の“故郷”合唱。留学生にとって稲美町が第2の故郷になりますように。

料理教室

コーサラ(スリランカ)
わたしは日本のたべものつくった。日本のたべものおいしいです。わたしはしょうへかえったら、このたべものつくります。ありがとうございました。



フェン(ベトナム)
初めて日本料理を作ったので、うれしかったです。それからみんなは一緒に食べたり、話したり、そうじしたりしました。おはしおきの作り方はとてもおもしろいです。また、自分で作ります。ありがとうございます。



日本語で十分に話せたことで、とても気が楽になり、楽しい時間をすごせました。自炊をされているということで、包丁なども上手にあつかわれていました。味付けもしていただきましたが、おいしかったです。

(いずみ会)

どうなるか不安でいっぱいでしたが、皆さんの明るい笑顔に緊張がとれ、とても楽しく料理をすすめる事が出来ました。皆さんとても料理が上手でびっくり。日本語も充分通じコミュニケーションもとれ、どなたも前向きでこちらが元気をいただきました。ありがとうございました。(いずみ会)

小学生交流

ツェンゲル(モンゴル)
小学生たちはすごいね。小さいのに、いろいろ知っている。日本のおりがみを教えてくれてありがとう。私の弟や妹と同じように、いっしょに遊ぶのはすごく楽しかった。いっしょに作ったうどんもおもしろかった。



ハオ(ベトナム)
今日、小学生と私たちはたくさん活動と一緒にしました。小学生は私にベトナム語をききながら、うどんを作りました。ベトナムのはつおんは本当にむずかしいですが、小学生のはすごくおいしいです。

特に楽しかったのはうどん作りです。こねたり、ふんだり、のばしたり…。留学生の人達と協力してつくったうどんはとてもおいしかったです。うどん作りなど、日本の文化をいろんな国に広めてほしいと思います!!

(大西 伶佳)

留学生との交流というのはあまりできないことだから、今日は最高に楽しい半日でした。もっといっしょに交流していたかったけど、そんなに長い時間がなく残念でした。もしまた交流ができるきっかけがあれば自分達が英語で話をできたらいいなと思います。(林 真帆)

老人クラブ交流

シャジブ(バングラデシュ)
楽しかった。老人クラブのおじいさんとおばさんにわらじの作り方を教えてもらって、自分でわらじを作ったのは本当に面白かった。わらじを作ったり、これまで遊んだりして日本の古い文化について色々わかった。老人クラブの皆様、ありがとうございました。



ヒエン(ベトナム)
今日は本当に楽しかったです。おじいさん、おばあさんたちは親切な人ばかりです。いろいろと話もできて、おじいさん、おばあさんたちの心の暖かさは国のことを思い出させてくれました。おじいさん、おばあさん、ありがとうございました。

日本語もとても堪能で、意思是ほとんど通じ、大学生の孫をもつ私には、孫と重なって他人とは思えないほど心が通い合えました。

(玉川 朱美)

大変楽しく交流をはかれました。私達シルバー年代も若返った気がいたします。留学生の方々の日本語力にはびっくりしました。(南澤 忠男)

留学生の皆さんは理解度が高く、明るく行動的ですからいい方ばかりで、将来性のあるたくましさを感じた。これから大いに活躍されることを期待します。(田中 正義)

小鍛冶ファミリー

ベラルーシ共和国 学生を受け入れて

わずか一週間の短い期間でしたが、楽しい日々を過ごす事ができました。



過去にも数回ホームステイの受け入れをしました。その学生は積極的に家族とコミュニケーションをとったり、自分の国のことを話してくれましたが、彼女はおとなしい学生で、自分から話しかけて来る事はありませんでした。再び我が家に遊びに来てくれる事を期待しつつ……今年の夏の思い出とします。

ファミリーが大好きです

カーチャ（ベラルーシ）

日本に来てから、この一週間は一番おもしろい時でした。稲美町民はとても優しく、親切です。日本の小学生と中学生は礼儀正しいです。茶道とか、華道とか、いろいろなことをやってみました。老人クラブと一緒に昔の履き物を作りました。そして、日本料理を作ってみました。おいしかったです。自分の国を紹介できて、嬉しいです。ファミリーといっしょにいろいろな所へ行きました。日本について新しい知識をたくさん教えてくれました。ファミリーが大好きです。

井上ファミリー

ニロスと過ごした夏

まだまだ日本語勉強中の彼と、ほとんど英語だめの私たちの会話は「？」だらけ。その「？」を一生懸命考えて、彼の伝えたいこと、私たちの伝えたいことがわかりあえた時の笑顔。「？」だらけの会話で「！」「笑」いっぱい会話になることが、とても楽しかったです。



一週間のあいだに、たくさんの経験をし、見て、聞いて、話して稲美町という日本の小さな町で過ごした事をいつまでも覚えていてくれたらうれしいです。ニロス、いつでも帰ってきてね。みんな待っています。

日本語すこし上達しました

ニロス（カンボジア）

今、私は日本ごがあまり上手ではないのでホストファミリーといっしょにしゃべる時あまりわかりません。ときどき私の話すことがはなしていることと全然ちがいます。だから、一日じゅういっしょに一つの家のなかにずっといるのはちょっと大変です。もっとも、まいにち日本ごばかり使うので、今、私はすこしじょうたつしたと思います。

このプログラムのあいだには、はじめてすることがたくさんあって、日本の文化も日本ごもよくわかるようになって、私にとってとてもいい経験です。今も将来も忘れません。

岡本ファミリー

ホストファミリーに参加して

スリランカのコーサラ・ガヤン・サマラトゥンガ君は物静かな青年で、来日して半年足らずでたどたどしい日本語ながらも、言葉の端々から、周りの環境と母親の愛情あふれる育て方が素直な性格と好奇心と行動力ある青年に成長したと感じさせる青年でした。

コーサラ君はベジタリアンでしたが、肉、魚料理をなるべく出さない注意以外は特別な料理も必要なく、料理のトラブルもまったくなく過ごすことができました。

今回感じたことは、ホストファミリーとして他国の青年と接することは、単に日本の姿、生活習慣と考え方を他国の人に紹介することだけでなく、自分たちの生活の中に他



国を近づけ、その国の生活習慣を通して自分たちの生活習慣を見直すきっかけにもなったということです。

ありがとうございました

コーサラ（スリランカ）

岡本さんは日本での生活の仕方や日本の歴史を教えてくださいました。奥さんのふみこさんは日本料理を教えてくださいました。とても素晴らしいことでした。寮に帰ったら、教えてもらった料理を作るつもりです。皆さん、私を喜ばすために一生懸命にしてくれてありがとうございました。もう一度岡本家の人々に私の特別な感謝の気持ちを伝えたいです。

中谷ファミリー

すてきな出会い、ありがとうございます

バングラデシュのシャジブ アノワル ジャマンさんは、20才の男性です。今年の4月から日本に来られたのに、漢字、仮名まじりの文章で、あいさつの手紙を書いて送って下さいました。「私は……と申します。……と存じます。」など、外国の方にはむずかしい謙譲語も書いてあり、まず日本語をマスターされたそのはやかにびっくりしました。

シャジブは、とてもまじめな人で、スピーチのためにインターネットで調べ、原稿を作り、くり返し練習していた姿が印象的でした。

8月8日の歓迎会から8月14日のお別れ会まで、一週間はあっという間に過ぎていきました。毎日が新鮮で時間が超倍速の7日間でした。



平和な稲美町

シャジブ（バングラデシュ）

ホストファミリーの方と遊ぶのは楽しかったです。ホストファミリーといっしょに空手と合気道の授業に行くのは面白かったです。神戸の港と海岸も見物しました。

7日間みんなで遊んだり食べたり色々習ったり見物したりして本当に嬉しいです。この7日間の経験を一度も忘れないと思います。ホストファミリーの方と稲美町のみんなにありがとうございました。

ホストファミリー・留学生

大森ファミリー

ホストファミリーを終えて

今回、ふれあい交流「いなみの里」に初めて参加しました。すべてが初めてのなのでホームステイを受け入れる前は食事・会話・生活様式など色々な面で不安を感じていました。

実際に1週間のホストファミリー生活を振り返ってみると、「特別なことをした気がするわけでもなく、ごく普通に1週間が過ぎたなあ」と言うのが私たち家族の感想でした。



食事は、ほとんどの食べものを「おいしい」といって食べてくれ、食べたことのないモノにも進んでチャレンジしてくれました。

また、モンゴルの料理を作ってくれたり、一緒にケーキやパン作りをしたり、食を通して会話や交流が深まったような気がします。

いなみ野の人々はしんせつでやさしいとおもいます サイハン（モンゴル）

一週間いなみ野の里でホストファミリーといっしょにおもしろくてたのしい時間をすごした。この一週間になみ野のいろいろな場所をみました。中学校、小学校、ろうじんたちとかいろいろな人々と交流してたくさんものをおしえてもらいました。日本の文化と人々の生活をみていろいろなたくさんものをならいました。いなみ野の人々はしんせつでやさしいとおもいます。

中山ファミリー

楽しかった1週間

フェンちゃんは日本に来て4カ月なのに、日本語もよく勉強して、うまく伝わらない時は別の言葉に置き換えたり、電子辞書で調べたり、コミュニケーションで困ることはありませんでした。

好奇心やチャレンジ精神が旺盛で、「お寿司大好き！」と言って手巻き寿司もたくさん食べてくれたし、抹茶ミルクやき水の宇治金時も気に入ってくれて、（納豆はさすがに口に合わなかったようですが）日本の食生活にも順応してくれました。

たった1週間でしたが、すっかり家族の一員になったフェンちゃん。また遊びに来てくれる日を楽しみにしています。



とても楽しかったです

フェン（ベトナム）

ホームステイはとても楽しかったです。中山さんの家族はとてもやさしいです。ほんとうに、うれしかったです。くみこさんは料理が上手です。毎日おいしい料理を作ってくれました。ありがとうございます。てつろうさんは私を連れて釣りをしました。たこ海の魚をとりました。ゆりちゃんはピアノが上手です。いい声を聞くと、うれしくなりました。ゆうたくんは勉強が好きなので、ゆりちゃんと一緒に都道府県を教えました。けいたくんはとてもかわいいです。おとうを思い出しました。たのしかったです。

水田ファミリー

ミンと過ごした楽しい時間

今回、我が家に来てくれたのはベトナムの「ミン」。流暢な日本語を話す、とても聡明な青年でした。しかもかなりの男前でしたので、娘の友達がかわるがわる遊びに来てくれて、連日深夜まで盛り上がりました。

ミンと過ごした楽しくも有意義な時間と、彼から学んだ多くのことを、これからの日々役立てたいと思います。彼にとっても、ここでの生活がよい経験と思いついてほしいと願っています。

ミンが帰って何日が経ち、寂しいな～と思っているときに、「早く寝てください。遅く寝るのは健康によくありませんよ。」とメールをくれるような心配りのできる本当に優しい子です。ミンまた遊びに来てね～。



楽しい夏休み

ミン（ベトナム）

一週間楽しく過ごしました。その間、いろいろな所に行きました。たくさん思い出を持ってます。みんなとてもやさしかったから、私は自分の家族の人のように感じられました。でも、一番よく覚えているのはホストファミリーという時間です。毎日おいしい食べ物を食べさせてくれました。そして、夜遅くまでみんないっしょにしゃべっていたから、いろいろあたらしいことがわかってきた。このプログラムがもっと長い時間で行われてほしいです。できたらまたいなみに来てホストファミリーに会いたいと思います。

白沢ファミリー

人間が自然と融合している“ベトナム”

ベトナム中央部ハーチン出身のハオ君を迎えて1週間を過ごしました。ハオ君はおとなしそうな外見に反して色々な活動に積極的に取り組んでいました。

日本語がよく理解できないことを悩んでおり、朝から晩までメモ帳を片手に家族と接して日本語の勉強に励んでいましたので、当方にも分からないことが沢山ありました。時には、昼間の疲れも手伝って居間で寝込んでしまうこともありました。



わすれがたき稲美町!!

ハオ（ベトナム）

いっしゅうかんははやく経ってしまいました。この間は本当にうれしかったです。はじめの日からさいごの日まで、私はたくさん活動にさんかしました。活動のとき、私はいつも稲美町のひとにてつだってもらいました。稲美町のひとと生活は私が育ったところとすごく似ています。みなさんほんとうにありがとうございます。

稲美町にいるとき、私は白沢さんの家庭に家族の一員のようにあつかわれました。いっしょにりょうりをつくったり、ごはんをたべたり、はなししたり、おどったり、うたったり……しました。このときはほんとうにうれしかったです。まことにありがとうございます。

もしできたら、ぜひ、もういっかい稲美町にきます。わすれがたき、稲美町!!

ふれあい交流体験・感想

米澤ファミリー

お盆にホームステイ?!

8月8日ベトナムからの留学生ヒエンがやってきました。21歳、ベトナムでは現役女子大生！一年間休学し、大阪大学へ日本語を学ぶためやって来ました。昨秋に来日し、約一年間日本語を勉強していたためか、驚くほど日本語がペ〜ラペ〜ラ。見た目も日本人っぽく「本当に国際交流してるのかな？本当は近所の子預かってるんじゃないの？」って思うほど、自然に家庭に溶け込んでいました。もちろん二人の息子もすぐに仲良くなり一緒に遊んでいました。



ベトナムと言えば生春巻き？って思っていたのですが、南側のホーチミンは生春巻きを、北側のハノイは揚げ春巻きを主に食べるようです。彼女はハノイ出身なので揚げ春巻きを作ってくれました。これは本当に美味しかったです。彼女から初めてベトナムを感じました。6日目の夜のことでした。

たった8日間でしたが、楽しい時間をありがとう！

家族の大切さ

ヒエン（ベトナム）

今回「いなみ野の里」に参加して、よねざわさんの家に泊まって、よねざわ家の一員になったような気がします。もちろん緊張したり、何を話したらいいのかという困惑もあったんですけど、家族みんなの暖かさに心が和まされたんです。一緒にゲームをしたり、六甲牧場に行ったり、料理を作ったりして、家族の暖かさ、親の心がよみがえってきました。この一週間は暖かい一週間であったり、楽しい一週間でした。やさしいようごさん、ユーモアのあるまさひろさん、シャイなにい、活発なたん、みんながいるよねざわ家が大好きです。一週間、ありがとうございました。

大向ファミリー

春まきおいしかったよ!!

なおさんは、とてもやさしい方でした。なおさんは私の家で3回も料理を作ってくれました。どの料理もとてもおいしかったです。生春まきに、あげ春まき、そしてピーフンです。それにパーティーでは、お母さんとなおさんと私でアオザイを着ました。



アオザイは体にピッタリしているほうがいらしいです。なおさんとはショッピングへも行きました。楽しい1週間でした。

ありがとうございます

ナオ（ベトナム）

初めの日、あたたかく迎えていただいて、本当にびっくりしました。楽しい話してもらって、喜びました。それに、ご飯を食べた後で、打ち上げ花火を見に歩いて行くので、ベトナムで毎年正月に家族と共に遊びに行く時がなつかしかったです。ベトナムに関してお父さんが良く分かるのは、私はびっくりしました。そして、幸せです。

そして、いなみ町の人々はねっしんにてつだって下さって、本当にありがとうございます。今週は大変速くたちました。

橋田ファミリー

結む&結ぶ

8月8日、今年の夏には珍しい酷暑の中、私達家族とモンゴル出身のSuvdaaさんとの一週間が始まりました。モンゴルのイメージは「風と光と青空の国」彼女はこのキャッチフレーズそのままの素朴で、優しい思いやりのある留学生です。



彼女の一週間は毎日意欲的に接したり体験されて、多くの文化、工芸品、建築までもが1枚（1本）の平面の組み合わせや結びにより機能的で色豊かな美しい立体物へとの変化はとても驚きの様子でした。

今回このような留学生の視点にふれる事ができ、我々夫婦は今までの悔いも憂いも加齢と共に増し、歳月は飛び、短く感じる一年を「時の残量」が常々よぎるせいと反省し、自由な時間を持つ老後後「時間の余裕」と感謝して失いつつある多くの生活用品にも目を向け、それらが役割と可能性を再認識し、これらのいとおしい道具達の使命を大切にしつつ、その向こうに広がる日本文化の源の「細や結び」の無限の可能性にもう一度ふれたいとおもいました。

楽しい思い出ができた

ソブドエルデネ（モンゴル）

初めてホームステイに参加して、日本人の家族と1週間生活したのは忘れない思い出ができた。私のホストファミリーのお父さんとお母さんは親切で、一緒に楽しい時間を過ごした。お母さんに毎日非常においしただけでなく、見るととても美しい料理をいただいた。兵庫県立考古博物館と赤穂市立海洋科学館に行って、日本史の御説明をいただいて、その上に私のわからない日本文化についてもわざわざ教えてくれたのでとても嬉しかった。橋田さんの御家族と一緒に楽しい時間を過ごして、「どうもありがとうございました」といいたいです。

丸尾ファミリー

カワイイ笑顔のチャンさん!!

今回、十数年ぶりに4回目のホームステイをやることになりました。少し不安な気持ちで対面式にのぞみました。

でも、チャンさんのカワイイ笑顔を見て、そんな不安もなくなってしまいました。

アツという間の7泊8日でしたが、たくさんさわやかな思い出を残していただきました。ありがとう!!もう1人の娘が出来たようでとてもうれしいです。

この縁がずっと続くことを願っています。また、稲美町に来てください。



稲美町=稲が美しい町

チャン（マレーシア）

来る前は、先輩が稲美町は田舎ですよって。でも、私にとっては、稲美町は田舎ですが、周りは田圃が一面緑色をしていて一番きれいな景色だと思います。

日本の家に泊まる間に、日本の普通の家の食文化を経験しました。初めて日本の伝統的な朝ご飯を食べました。前は日本人が朝にご飯とのお味噌汁を食べることをぜんぜん知りませんでした。お母さんの料理がおいしかったので、多分この間に、私は太くなっているでしょう。（笑）

そして、日本人と話すとき、自分の日本語の能力がまだ低くて、知ってる単語が少ないことが分かりました。今から、日本人のように日本語をしゃべることを目標にもっと頑張ります。

ホストファミリー・留学生

ふれあい交流体験・感想

松田ファミリー

主食はお肉

我が家に来てくれたのは、モンゴル人のツェンゲルちゃん。最初のあいさつで、お父さん、お母さんと呼んでいいですか？いいですよ。娘が一人増えました。

モンゴルでのツェンゲルの主食は牛肉だったようです。日本では高価なので、とても主食にはできないねと二人で笑いました。

そして、日本の料理を教えて欲しいという彼女に、簡単にできるお好み焼き、少ないお肉でも美味しいすき焼きなどを作りました。携帯で写真を撮りながら、寮に帰ったら自分で作りますと言ってました。

今回は、お互いの国の料理を味わい、美味しい交流ができました。ツェンゲルが日本にいるこれからの4年余り、日本の父母の元へいつでも羽を休めに帰って来て欲しいと思っています。



私にとって大切な時間

ツェンゲル（モンゴル）

日本に来て、始めて日本人の家に泊まった。ここに来て、日本のことよくわかりました。ホストの家族も自分の国にいる家族みたいな感じがしました。毎日お母さんのおいしい料理を食べたり、いっしょに料理を作ったり、お父さんといっしょにいろいろな所へ行ったり、とてもいそがしくて、楽しい時間をすごしました。老人たちといっしょにわらじを作ったり、中学生と小学生たちといっしょに遊んだり、うどんを作ったり、いろいろなことをしてみた。みじかくても、一週間すごく面白い時間をすごすことができました。このあいだは私にとって大切な時間になります。ほんとうにありがとうございます。

赤松ファミリー

楽しかった一週間

20年振りにホームステイを引き受け、少々不安もありましたが、対面式の日にアインさんに花束を渡して、彼女がとても気さくな娘さんだったので、すぐに打ちとけることができ、家族が一人増えたようでした。

彼女は稲美町のいろんな人達との交流がとても楽しそうでした。

あ!!という間の一週間でしたが、彼女を通じてベトナムの事やお料理を学ぶ事ができ、貴重な体験をさせてもらいました。彼女は9月にはベトナムへ帰国しますが、これからも交流をしていきたいと思えます。大切な娘として、いつまでも。



1週間過ごしたこと

アイン（ベトナム）

1週間早く終わりますね。最初の日、稲美町に来たばかりの時、「なつかしいなあ」とさげんでいました。私は田舎に生まれて育っているから、田舎が好きです。ふれあい交流「いなみ野の里」というプログラムに参加できて、本当によかったです。

ホームステイの日はいつもお世話してくれたり、親切にしてくれたりして、うれしくて、しあわせです。1週間だけでも、本当の家族のあたたかい雰囲気の中を過ごしました。皆にお礼を本当の気持ちで言いたいです。

短い時間で稲美町に泊まったのに、いろいろな役に立つことが分かってきました。日本の人か文化、生活とかも分かってきました。ここの人や景色はいろいろ楽しくて、面白い思い出がつくれて、ずっと忘れられません。

ここの人や景色に未練がいっぱいありますから、チャンスがあったらぜひ戻りたいと思っています。

大村ファミリー

家族の大切さ

リンチさんは、礼儀正しく快活で、わからない言葉はすぐに辞書で調べて自分のものにしており、日本語のレベルが高くて、子どもたちもよく遊んでもらい、子どもたちの日本語もよくなったように思います。

彼女と一緒に料理をしたり旅行に行ったりという事を通して、家族の大切さに気づき、自分自身も家族や祖母、両親、弟家族との絆が深まり、リンチさんという大事な家族が一人増えました。

あれから、いなくなったお部屋や減った洗濯物や使っていたお茶碗をみると寂しいですが、2日に一度メール交換をしているので、大丈夫です。このような機会を頂いて本当に感謝しており、また参加したいです。そして、もし一歩踏み出せずに受け入れを考えていたらっしやる方がおられたら素晴らしさを伝えてお勧めしたいです。



わすれない思い出

リンチ（ベトナム）

皆は親切でいつも私のことを考えてくれました。皆さんに本当にお世話になりました。感謝の心を十分に伝えきれなくて、残念に思います。

私は帰ってから、寂しくなるかもしれませんが、しょうがなくいっしょけんめい勉強しなければなりません。

一週間、天国みたいなところで過ごしたこと、一生忘れたいです。日本文化とベトナムの文化は意外に似ているのを感じました。懐かしかったです。

ぜひ戻って来たいです。また会いましょう。皆さん体に気を付けて下さい。



▲それぞれの民族衣装で大集合！



▲また、稲美町に来てください